

新たなる支援のご紹介

2800 地区(山形)の山形東ロータリークラブから創立記念事業として「ロータリー希望の風奨学金」に支援金をお贈りしたいとのご招待があり、2017 年 9 月 9 日(土)、山形市で開催された創立 30 周年記念式典にお邪魔してきました。2800 地区は震災後の数年間、地区独自の支援事業を行って居られたようですが、それが終了したため、クラブ独自の支援事業を考えられたようです。同地区内では 2016 年 1 月には山形北ロータリークラブが震災支援の為にチャリティーコンサートを開催され売上金をお贈り下さいました。また、鶴岡南ロータリークラブの会員の方からは 2 回に亘り支援金をお贈り頂いております。

委員長からひと言：2011 年 11 月のプログラム開始時に賛同 10 地区から寄せられた支援は、現在は賛同地区以外の多くの地区、クラブ、ロータリアンに留まらずの多くの団体・企業・個人の皆様方からも寄せられるようになりました。

支援されるロータリアンからのお便りのご紹介

ロータリーの友 9 月号に掲載された「ロータリー希望の風奨学金」の報告書を読ませて頂きました。この奨学金が始まった 2011 年には私は当地区の青少年交換委員長を担当していきまして、この奨学金にかかわられた故西川武重郎パストガバナーと密接に連携し来日交換学生の緊急帰国で母国との連絡に奔走したことを思い出します。

同時に急に一家の大黒柱を失い残された遺児が進学の夢を閉ざされたことに深く同情しまして、以来小額ではありますが毎年支援金を送っています。このような基金を設立されえたロータリアンの方々に感謝申し上げます。と言いますのも私も父親が高校 2 年生で病没し途方に暮れていましたところ、奨学金と授業料免除などで大学まで通学させてもらったことを今もって感謝しているからです。

以前から集めれた奨学金がどのように使われているか知りたく思っていました。今回ロータリーの友 9 月号に地葉様の丁寧なご報告を載せていただき、その健全な運営とこの事業に携わってくださる方々に感謝する次第です。ただ今回のご報告の中にありました奨学生とロータリークラブとの関係が予想ほどには密接でないことが残念で、青少年奉仕活動に近い関係を地元のクラブと持って下さればさらに奨学生の心の支えとなるかと考えました。

この事業が予定の年限を発展的に満了されますよう皆様の益々のご活躍をご祈念申し上げます。

(RI2570 地区 東松山ロータリークラブ 中川正明 様)

委員長からひと言：更なるご理解とご支援が得られますよう、協議会委員の皆様と共に努めて行きたいと思っておりますので、今後ともよろしくお願い致します。

(文責：委員長/地葉新司/2010-2011PG/湯上 RC)